

## 令和 7 (2025) 年度第 2 回栃木県農村地域資源保全向上対策委員会の結果概要について

栃木県農政部

- 1 開催日時 令和 7 (2025) 年 12 月 19 日 (金) 10 : 00～11 : 40
- 2 開催場所 栃木県庁昭和館多目的室 4
- 3 出席者 栃木県農村地域資源保全向上対策委員会委員 4 名  
県関係者 6 名
- 4 議 題
  - ・ 中山間ふるさと・水と土保全対策事業、中山間ふるさと・水と土保全推進事業に係る実施計画等について
  - ・ 中山間地域等直接支払交付金を活用した棚田地域振興について
- 5 結果概要

県内における中山間ふるさと・水と土保全対策事業、中山間ふるさと・水と土保全推進事業に係る取組実績や次期計画の素案及び中山間地域等直接支払交付金を活用した棚田地域振興等について事務局から説明し、各委員から意見等をいただいた。

### <主な意見等の内容>

#### ○ふるさと・水と土基金事業実施計画

- ・ 農村ボランティアマッチングサイト「TUNAGU」の会員登録者数のうち、実際に農村で活動をしている参加者の割合が約 4 割という数値は高いと感じ、評価できる。今後、新規登録者数を増やすために、今までやってきた SNS の活用以外に、大学生や移住者などの違うチャンネルにアプローチして、間口を広げてほしい。
- ・ 県内にある関係団体同士の交流が少なく、類似の活動を実施している団体同士のネットワークがあれば、活動している団体の刺激になるだけでなく、ネットワークを県が把握していることが、今後の農村振興の強みになると考える。

#### ○中山間地域等直接支払交付金

- ・ 農泊の目標人数、オーナー人数、ブランド米の販売量の 3 つの目標があるが、どういう地域を作りたいかを明確にし、「地域の目指す姿」につながるようなメリハリをつけた目標を立ててほしい。
- ・ 棚田地域振興のモデル的な取組であるため、他地域でも活用できるポイントや必要な要素を整理して、広く展開してほしい。